

ヨーロッパ経済論 I

科目ナンバリング ECP-319

選択 2単位

工藤 芽衣

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では、欧州連合(EU)が設立されるまで、また設立された後のヨーロッパの諸問題を学びます。扱う問題は、20世紀以降のヨーロッパ経済の歴史、各国の経済政策、国際経済とヨーロッパの関わり、などです。ヨーロッパ経済論Iでは、特に第一次大戦後から1970年代までのヨーロッパ統合を扱います。

2. 授業の到達目標

各時代ごとにどのような出来事が発生し、どのような制度や政策が実施されたのかを、大体説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中に実施する小テスト(40%)+レポート(60%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

久保・田中 現代ヨーロッパ経済論 ミネルヴァ書房

井上淳 はじめて学ぶEU 歴史・制度・政策 法律文化社

田中 現代ヨーロッパ経済 有斐閣

5. 準備学修の内容

事前に配布する資料や参考文献の該当部分を事前に読み、わからない言葉、疑問点などをメモしておく。また、授業終了後に次の回までにレジュメを見直しておく、次回の理解がスムーズになります。

6. その他履修上の注意事項

授業中に不要な私語を行わないことが大前提です。授業中の私語は他の受講者にとって大変迷惑な行為であるため、注意回数が多い場合には退室とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入(授業の概要)(オンデマンド)
- 【第2回】 第一次大戦後のヨーロッパ
- 【第3回】 1930年代のヨーロッパと経済統合構想
- 【第4回】 第二次大戦とヨーロッパ
- 【第5回】 1940年代:ドイツ問題
- 【第6回】 1950年代:欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)
- 【第7回】 1950年代:ヨーロッパの戦後復興と対外的自由化
- 【第8回】 1950年代:欧州共同体(EEC)の設立
- 【第9回】 第8回までの復習(オンデマンド)
- 【第10回】 1960年代:農業共同体
- 【第11回】 1960年代:ECの経済成長と国際経済
- 【第12回】 1970年代:国際経済の動揺とEC
- 【第13回】 1970年代:ECの完成・深化・拡大:経済通貨同盟の試み
- 【第14回】 1970年代:ECの完成・深化・拡大:イギリスの加盟、EC財政
- 【第15回】 まとめ